

日本遺伝学会第 87 回大会

The 87th Annual Meeting of the Genetics Society of Japan

プログラム・予稿集 Program・Abstracts

開催概要	3
参加者へのご案内	4
座長・発表者へのご案内	7
会場案内	9
総会式次第	11
日本遺伝学会賞	12
Best Paper 賞	13
プレナリーワークショップ	14
男女共同参画公開ランチョンワークショップ	16
市民公開講座	17
一般講演 座長一覧	18

プログラム

プレナリーワークショップ、国際公開シンポジウム、 国際若手セッション	21
ワークショップ	23
一般講演	32

要 旨

プレナリーワークショップ	47
国際公開シンポジウム	51
国際若手セッション	56
ワークショップ	61
一般講演	79

著者名索引	112
-------	-----

日本遺伝学会第 87 回大会への歓迎のご挨拶

日本遺伝学会第 87 回大会委員長

西尾 剛 (東北大学)

日本遺伝学会第 87 回大会を、2015 年（平成 27 年）9 月 24 日（木）から 26 日（土）まで、東北大学川内北キャンパスにおいて開催いたします。東北大学では、2003 年以來の 12 年ぶりの開催になります。当初の予定では、本第 87 回大会は 9 月 23 日から 25 日までの開催予定でしたが、9 月 23 日まで人気アイドルグループの公演が仙台で開催されることになり、参加者の皆様の仙台での宿泊予約が困難となることから、日程を変更し開催することといたしました。従来 of 日程より短縮した 2 日半の会期ではありますが、これまで通り、一般講演、ワークショップ、国際公開シンポジウム、公開市民講座等を開催いたします。

一般講演では遺伝学会のこれまでの伝統を守り、口頭発表といたします。また、国際公開シンポジウムでは「Molecular Evolution and Population Genetics in Asia」と題して、アジア諸国から 4 名の研究者をお招きしご講演いただきます。ワークショップでは遺伝学会にふさわしい 11 もの最先端の内容が集まりました。24 日午後にはプレナリーワークショップと総会、受賞講演があり、その後江陽グランドホテルで懇親会を行います。25 日には恒例の分野別懇親会ナイトゼミナールを川内北キャンパス Bee AREANA Café で行います。

公開市民講座は、JSPS 科研費 15HP0023 の支援を受け、「パーソナルゲノム時代の遺伝学と人間社会」と題して仙台国際センター大ホールで開催いたします。遠藤隆遺伝学会長を始めとした第一級の講師陣により、ゲノムの概念から、ゲノム解析技術の進歩、個人遺伝子診断や食料生産など、人間社会に関わる遺伝学についての講演がなされます。一般市民や大学生、高校生にゲノムの基礎知識と遺伝学の人間社会における重要性を伝えることを目的としております。大きな会場での講演会ですので、第 87 回大会に参加されました皆様にも、多数ご参加いただけることを願っております。

川内北キャンパスは、仙台駅から西へ約 2km の川内地区にあり、清流広瀬川の西側に位置します。仙台駅からはバスで 15 分程度ですが、徒歩でも 35 分程ですので、天気の良い日や、仙台の繁華街の一番町付近のホテルにご宿泊の場合は、徒歩で来られることもお勧めいたします。仙台は、4 年前の東日本大震災で大きな被害を受けましたが、津波を受けました沿岸部を除き、概ね復旧いたしました。震災後、皆様方には被災地に対し多くのご支援を賜り、ありがとうございます。繁華街の中心地は、以前にも増してにぎわっており、特に若者が街の活気をもたらししています。9 月は、仙台やその周辺の観光にはあまり適した時期ではございませんが、地酒や海産物、牛タン等、宮城の食をお楽しみいただけます。大会参加者の皆様に東北の良さを発見していただけたら幸いです。

本大会では、日本遺伝学会での活動経験が乏しいものが大会委員長や大会運営委員を仰せつかることになりました。不行き届きも多々あるかと存じますが、鋭意努力いたしますので、ご容赦いただけますようお願いいたします。大会運営委員一同、みなさまのお越しを心より歓迎し、第 87 回大会が盛大な大会となりますことを切に願っております。

開催概要

会 期	2015年9月24日(木)～26日(土)
公開市民講座	2015年9月26日(土)
会 場	東北大学 川内北キャンパス (〒980-8576 仙台市青葉区川内41)
主 催	日本遺伝学会
共 催	東北大学大学院農学研究科

組織委員会

大会委員長	西尾 剛 (東北大学大学院農学研究科)
事務局長	北柴 大泰 (東北大学大学院農学研究科)
大会副委員長	木島 明博 (東北大学大学院農学研究科)
プログラム委員長	伊藤 幸博 (東北大学大学院農学研究科)
プログラム副委員長	山口 由美 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
プログラム委員	河合 洋介 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
プログラム委員	佐藤 行人 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
プログラム委員	三澤 計治 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
プログラム委員	原田 昌彦 (東北大学大学院農学研究科)
プログラム委員	牧野 能士 (東北大学大学院生命科学研究科)
プログラム委員	山元 大輔 (東北大学大学院生命科学研究科)
プログラム委員	山本 雅也 (東北大学大学院農学研究科)

参加者へのご案内

■ 受付（当日受付／総合受付）

場所：東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C 棟 1 階 C104

時間：9月24日（木） 9：30～17：00

9月25日（金） 8：15～17：00

9月26日（土） 8：15～11：00

※会期中は参加証（ネームカード）を必ず着用ください。着用の無い方の入場はお断りします。

ネームカードをお忘れになった場合は総合受付にお申し出ください。

■ 参加費

◆当日参加登録

当日参加の方は「当日参加登録受付」にて、当日参加登録用紙に必要事項を記入し、参加費をお支払いのうえ、参加証、プログラム・予稿集をお受け取りください。

登録区分	大会参加費	懇親会費
一般会員	8,000 円	8,000 円
学生会員	無料	5,000 円
一般非会員	10,000 円	8,000 円
学生非会員	無料	5,000 円

※ 学生（会員・非会員）で当日登録をされる場合は、学生証の提示が必要です。

※ プログラム・予稿集は、学生（非会員）を除き、参加費に含まれています。

別途購入を希望される方には、1部 3,000 円、学生は1部 1,000 円で販売いたします。

◆事前登録済の方

- 1) 事前参加登録をされた方は、当日の参加受付・手続は不要です。事前にお送りする参加証（ネームカード）をお持ちのうえ、着用ください。なお、カードケースは総合受付付近に用意してあります。
- 2) 事前参加登録をされた方にはプログラム・予稿集を事前に送付しています。当日はお忘れなくお持ちください。

■ 懇親会

日時：9月24日（木） 18：30～20：30

会場：江陽グランドホテル（仙台市青葉区本町2丁目3-1 Tel 022-267-5111）

※ 会期中の参加申込は総合受付にて承ります。

※ 懇親会会場におきましても、参加証（ネームカード）を着用ください。

※ 当日はすべてのプログラム終了後、各自でご移動いただきます。

■ 附設展示会

場所：東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C 棟 1 階 C105

時間：9月24日（木） 10：00～18：00

9月25日（金） 9：00～17：30

9月26日（土） 9：00～12：00

出展：Nature Publishing Group

株式会社島津製作所

株式会社エスケーエレクトロニクス

株式会社エヌ・ティー・エス

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

■ クローク

場所：東北大学 川内北キャンパス 講義棟 C 棟 1 階 C103

時間：9月24日（木） 9：30～18：00

9月25日（金） 8：15～18：30

9月26日（土） 8：15～12：30

クロークに預けた荷物は、必ずその日のうちにお引き取りをお願いします。

■ インターネット

東北大学川内北キャンパスで、学内の無線 LAN が使用できます。ID とパスワードは受付で配布いたします。

■ 会場内の呼び出し

放送やサブスライドによる呼び出しはおこないません。

■ 昼食

大会開催中は、東北大学川内北キャンパスの食堂がご利用いただけます。

■ 託児

事前申込者のみの利用となり、受付は終了しております

■ ナイトゼミナール

9月25日（金）の夜に、ナイトゼミナール（分野別懇談会）を開催します。分野ごとに分かれて親睦を深める会ですので、お気軽にご出席ください。大会参加者であれば、どなたも出席可能です。当日の大会終了後、現地にお集りください。飛び入りの出席も可とします。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。
(主幹事 佐藤行人)

日時：9月25日（金） 18：30～20：30

会場：東北大学川内北キャンパス Bee AREANA Cafe（講演会場 C 棟のそば）

会費：一般参加者 3,000 円程度（人数により変動あり）。

学生参加者および国際シンポジウム講演者は免除です。

予定幹事：

集団進化	山口 由美（東北大東北メディカル・メガバンク機構）
エピゲノム	一柳 健司（九大生体防御医学研究所）
分子遺伝	古郡 麻子（奈良先端大バイオサイエンス研究科）
行動発生	鈴木 崇之（東工大生命理工学研究科）
生命情報	萩島 創一（東北大東北メディカル・メガバンク機構）

■ 幹事会、評議員会、編集委員・編集顧問合同委員会、役員懇談会

【幹事会】

開催日時：2015年9月23日（水）12：00～14：30

場 所：B会場（C201号室）

出席者：会長、幹事、大会委員長、次期大会委員長、事務局

【評議員会】

開催日時：2015年9月23日（水）14：40～16：40

場 所：B会場（C201号室）

出席者：幹事会出席メンバー、評議員

【編集委員・編集顧問合同委員会】

開催日時：2015年9月23日（水）16：50～18：50

場 所：B会場（C201号室）

出席者：会長、編集委員、編集顧問

【役員懇談会】

開催日時：2015年9月23日（水）19：30～21：00

場 所：アークホテル仙台青葉通り（1F）

出席者：役員会出席者

■ 会場運営等についてのお願い

1. 会場では節電に取り組んでいます。室内温度、照度などご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。クールビズスタイルでのセッション参加にご協力ください。
2. 会場等での盗難について年会事務局では責任を負いかねますので、各自の責任で十分にご注意ください。
3. 講演会場での写真撮影・ビデオ録画・録音等は禁止させていただきます。
4. 講演会場では、携帯電話の電源をお切りになるかマナーモードにしてください。

座長・発表者へのご案内

■ 座長の方へ

ご担当セッションの開始 15 分前までに会場内右前方の「次座長席」にご着席ください。
進行につきましては、時間厳守でお願いいたします。
計時はストップウォッチでおこない、ベルで知らせます。

シンポジウム・ワークショップ座長

講演順、講演時間の変更は、座長席前に待機しているタイムキーパーにお伝えください。
ベルを鳴らすタイミングは、タイムキーパーより当日確認させていただきます。

一般講演座長

講演時間は 1 演題あたり 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）です。
ベルを鳴らすタイミングは、以下のとおりです。

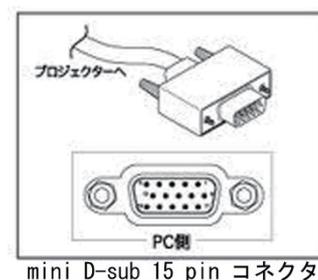
- 1 鈴 10 分経過時（発表時間終了 2 分前）
- 2 鈴 12 分経過時（発表時間終了、質疑応答開始）
- 3 鈴 15 分経過時（質疑応答時間終了、持ち時間終了）

■ 発表者の方へ

講演は、全てパソコンとプロジェクターによるプレゼンテーションとなります。
必ずノートブック型 PC の持ち込みをお願いします。
本部前に試写機を準備いたしますので、動作確認をお願いします。
発表 30 分前までには会場にて PC を接続ください。
発表時間が来ましたら、接続済みのご自身の PC を持って演壇にお上がりください。
次発表者は、「次発表者席」で待機してください。
PC は下記の接続仕様によるケーブル接続で、スイッチャーで切り替えます。移動の際はケーブルをひっかけないようにご注意ください。

プロジェクターへの接続

プロジェクターへの接続は、会場の mini D-sub 15 pin（オス）タイプのコネクタを、パソコンの mini D-sub 15 pin（メス）につないで行います。この形状以外の変換ケーブルが必要な機種を使用の方は変換コネクタを必ずご持参ください。



発表データ作成要領

・使用 OS

Windows7以降、または Mac OS X 以降の OS にて発表データを作成してください。

・画面サイズ

プロジェクターの画面解像度は、1,024 × 768 ピクセル (XGA) です。この環境に合わせてのデータ作成をお願いします。

・音声利用

音声の出力には対応していません。

・試写

大会本部前で試写を行うことができます。

・バックアップデータ

発表データは USB メモリや CD-R などにバックアップをとり、必ずご持参ください。

講演時間

シンポジウム、ワークショップ

講演時間、質疑応答時間は演題ごとに異なります。プログラムにてご自身の発表時間を確認するとともに、事前に世話人への確認もお願いいたします。

・一般講演

講演時間は1演題あたり15分（発表12分、質疑応答3分）です。

ベルを鳴らすタイミングは、以下のとおりです。

- 1 鈴 10分経過時（発表時間終了2分前）
- 2 鈴 12分経過時（発表時間終了、質疑応答開始）
- 3 鈴 15分経過時（質疑応答時間終了、持ち時間終了）

会場案内

■会場案内図



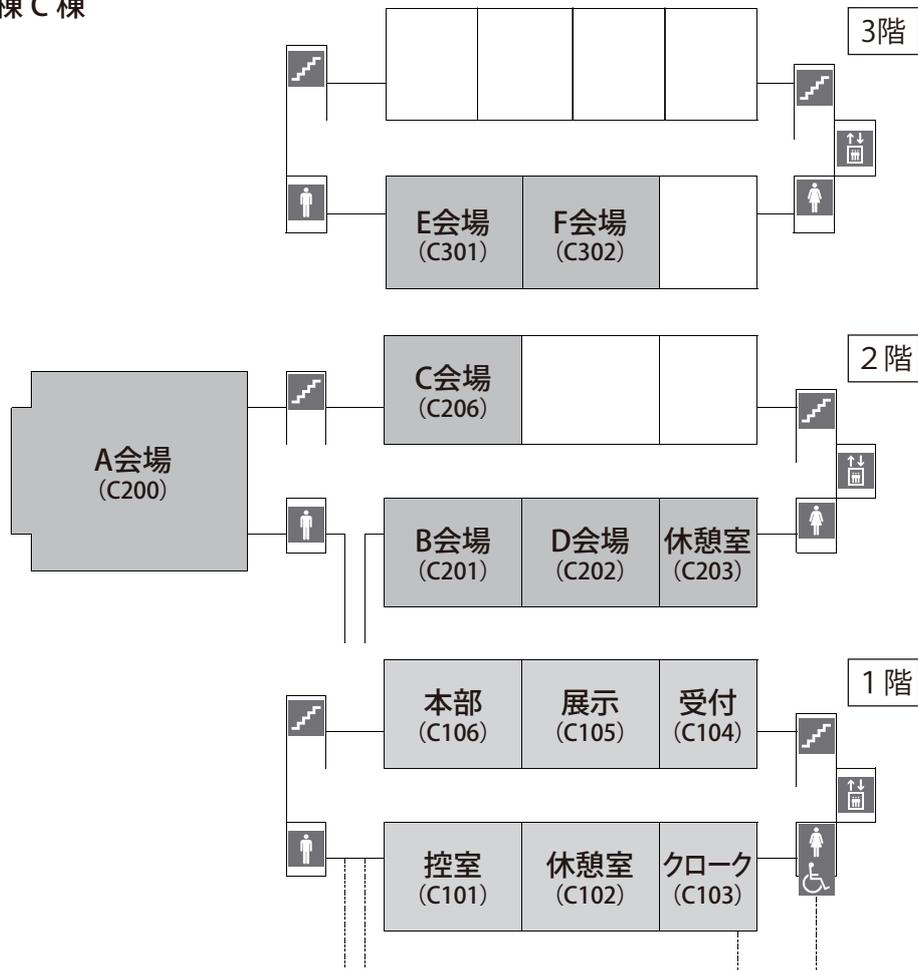
仙台駅西口バスプールからのアクセス

- ① 9番乗場から「宮教大・青葉台行」「青葉通経由動物公園循環」に乗車
➡「東北大学川内キャンパス・萩ホール前【1】」下車 (約15分、運賃180円)
- ② 16番乗場から「広瀬通経由交通公園・川内(営)行」「広瀬通経由交通公園循環」
➡「川内郵便局前【2】」下車 (約15分、180円)

■会場周辺図



■講義棟 C 棟



総会式次第

日本遺伝学会第 87 回大会総会

日時 2015 年 9 月 24 日 (木) 15:15 ~ 16:15

場所 東北大学川内北キャンパス 教育情報基盤センター 2 階 M206 教室

総会次第

① 大会委員長挨拶	委員長	西尾 剛
② 日本遺伝学会会長挨拶並びに報告	会長	遠藤 隆
a 幹事報告	国内庶務幹事	小林 武彦 野々村賢一
	渉外庶務幹事	岩崎 博史 菱田 卓
	会計幹事	真木 寿治
	編集幹事	舘田 英典
	企画・集会幹事	遠藤 俊徳 中別府雄作
	将来計画幹事	榊屋 啓志 杉本 道彦
	法人化担当	山本 博章
	男女共同参画推進担当	篠原 美紀 荒木 喜美
	広報担当、ホームページ編集	那須田周平 関根 靖彦
	遺伝学普及・教育担当	池村 淑道 平田たつみ
	その他	
b 学会賞選考委員会報告	委員長	遠藤 隆
c 生物科学学会連合報告	委員	菱田 卓
d その他		
④ 議事		
a 2014 年度決算	会計幹事	真木 寿治
	会計監査	池尾 一穂
b 2016 年度予算案	会計幹事	真木 寿治
c 第 89 回大会について	企画・集会幹事	遠藤 俊徳
d その他		
⑤ 次期 (第 88 回) 大会委員長挨拶	第 88 回大会委員長	桂 勲
日本遺伝学会木原賞・奨励賞授与式	会長	遠藤 隆

日本遺伝学会賞

【日本遺伝学会木原賞】

なし

【日本遺伝学会奨励賞】

河邊 昭（京都産業大学総合生命科学部）

「野生植物集団の遺伝的多様度と変異の維持機構」

「Genetic diversity and its maintenance mechanism in wild plant populations」

【日本遺伝学会奨励賞】

大野 みずき（九州大学 医学研究院）

「酸化塩基 8- オキソグアニンはほ乳動物におけるゲノム多様性の原因である」

「Oxidized base, 8-oxoguanine causes genome diversity in mammals」

授賞式・受賞講演

日時：2015年9月24日（木）

場所：東北大学川内北キャンパス
教育情報基盤センター 2階 M206 教室

日本遺伝学会第 87 回大会 Best Papers 賞

遺伝子検査などのサービスが一般に浸透し、分子レベルを含めた遺伝学研究は、国際的にはかつてないほど重要性を高めています。しかし国内においては中高の学習指導要領から遺伝学の内容がバッサリと切り落とされるなど、評価が十分とはいえません。Best Papers 賞は、講演を表彰することによって、重要な研究の発展を広く宣伝し、また優秀な研究者がステップアップする上で必要不可欠ともいえる業績の一つとして、その証である受賞歴の一行を加えることによって、研究者のみならず分野の興隆を期待するものです。

■ BP 賞について

Best Papers (BP) 賞は、優れた研究成果を報賞し日本の遺伝学の発展に資することを願い、21 世紀最初の第 73 回大会開催を記念して始まりました。当初は授賞式や賞金はなくあるのは名誉だけでしたが、第 82 回大会から前年度 BP 賞受賞演題から数題が選抜され、プレナリーワークショップにて講演されるようになりました。

■ 投票および選出方法

会長、評議員、編集顧問、編集委員、各座長、幹事の計 100 名以上が評価委員となります。評価委員は「特に優れた講演」「優れた講演」および「聴講した演題」に印をつけて投票します。該当者には専用の投票用紙が事前配布されます。投票対象には、一般演題として申し込まれ、採択されたワークショップ演題も含まれます。なお、公平性の観点から共著演題には投票できません。

集計および選考に際しては、聴講者数による不利益を最小限にするため、公演ごとに、評価数を重み付き合計し、聴講数で除した評価率が指標に用いられます。

集計結果は、選考委員会によって選考され、分野や聴講者数の極端な偏りが考慮された上で、10 演題程度が選ばれます。

■ 受賞の確定について

受賞候補者には 11 月下旬頃を目処に Genes & Genetic Systems (GGS) の付録誌「21 世紀の遺伝学」の研究紹介原稿を依頼します。期日までに原稿提出された方が受賞者として確定します。GGS において学会ホームページに記事が掲載されるとともに、受賞者には賞状と記念品が贈られます。

プレナリーワークショップ — 昨年のBP 賞受賞講演から —

日時：9月24日（木）14：00～15：00

会場：S 会場（教育情報基盤センター 2階 M206 教室）

世話人：日本遺伝学会長 遠藤 隆

14:00～14:20 ヒストン脱メチル化因子 Jmjd3 による眼形成遺伝子 *pax6* の発現制御

○川口 茜¹⁾、越智 陽城²⁾、須藤 則広³⁾、萩野 肇¹⁾

1) 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科 発生ゲノム学研究室

2) 山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 3) 東京女子医科大学 解剖学教室

近年のゲノムプロジェクトにより、ツメガエルはヒト疾患関連遺伝子の79%をもつことが明らかになった。このツメガエル胚を用いて、ヒストンH3の27番目のリジン（H3K27）の脱メチル化酵素 Jmjd3 の発現解析をおこなったところ、眼のレンズ原基で発現していた。さらに Jmjd3 の発現阻害や標的遺伝子の同定を行なった結果、Jmjd3 が眼形成のマスター遺伝子 *pax6* の発現に必要不可欠であることを発見した。先天性眼疾患には *pax6* の機能不全を伴うものが多いが、その発症機序には未だわかっていないことが多い。本研究から、それらの疾患には Jmjd3 の機能低下の関与が示唆される。

14:20～14:40 RNAPII-CTD Ser7 のリン酸化は新生 noncodingRNA のクロマチン結合を安定化させることでヘテロクロマチン構造の形成、維持を行う。

○梶谷 卓也^{1,2)}、加藤 太陽³⁾、近重 裕次⁴⁾、平岡 泰⁵⁾、木村 宏⁶⁾、大川 恭之⁷⁾、長尾 恒治⁸⁾、小布施 力史⁸⁾、Damien Hermand⁹⁾、村上 洋太¹⁾

1) 北海道大学大学院 理学研究院 生物有機化学研究室 2) 京都大学大学院 医学研究科

3) 島根大学大学院 医学系研究科 4) 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所

5) 大阪大学大学院 生命機能研究科 6) 東京工業大学大学院 生命理工学研究科

7) 九州大学大学院 医学研究院 8) 北海道大学大学院 先端生命科学研究院

9) ナミュール大学 ナミュールアドバンスドリサーチカレッジ

Phosphorylation of CTD of RNA polymerase II (RNAPII) regulates co-transcriptional events. We show that in fission yeast, phosphorylation at Ser2 and Ser7 (Ser7P) contribute to silencing of centromeric ncRNAs. Ser2P does not affect heterochromatin, whereas Ser7P is involved in RNAi-dependent heterochromatin formation. Ser7P and a chromodomain protein, Chp1 stimulate on-chromatin retention of heterochromatic ncRNA. We also found Ser7P is required for establishment and epigenetic inheritance of heterochromatin, cooperatively with Chp1.

We found a novel crosstalk between CTD code and histone code.

14:40 ~ 15:00 **チンパンジー親子トリオ全ゲノム解析による世代間直接変異率の推定および構造変化の同定**

○郷 康広^{1,2,8,9)}、辰本 将司^{1,2,3)}、福多 賢太郎³⁾、野口 英樹⁴⁾、早川 卓志^{5,6)}、友永 雅己^{5,7)}、平井 啓久⁸⁾、松沢 哲郎^{5,6,7)}、阿形 清和^{9,10)}、藤山 秋佐夫^{3,4)}

- 1) 自然科学研究機構 新分野創成センター ブレインサイエンス研究分野
- 2) 自然科学研究機構 生理学研究所 認知行動発達機構研究部門
- 3) 国立遺伝学研究所 比較ゲノム解析研究室 4) 国立遺伝学研究所先端ゲノミクス研究センター
- 5) 京都大学 霊長類研究所 ワイルドライフサイエンス (名古屋鉄道) 寄附研究部門
- 6) 公益財団法人日本モンキーセンター 7) 京都大学 霊長類研究所 思考言語分野
- 8) 京都大学 霊長類研究所 ゲノム進化分野
- 9) 京都大学 理学研究科 グローバル COE プログラム
- 10) 京都大学 理学研究科 生物科学専攻 分子発生学学科

進化の駆動源はゲノムに生じる変異である。本研究では、京都大学霊長類研究所の1組のチンパンジー親子トリオの全ゲノムシーケンスを150倍以上のカバー率で配列解読を行い世代間の直接変異率の推定と親子間での構造変化の同定を行った。その結果、ヒトの平均変異率よりも高い変異率 (1.7×10^8 /site/generation) を得た。さらに、今回の極めて精度の高いデータを用いる事で、個体間のコピー数多型の検出、さらにコドモにおける新生 (*de novo*) コピー数変異の同定なども可能となった。今回の研究により、進化・遺伝における基本的な推進力である変異の1世代における動態を直接推定すること、およびその解析の枠組みを提示することが可能となった。

男女共同参画公開ランチョンワークショップ

使えるものは全て使え！
～東北大学から学ぶこと、学会が出来ること～

日時：9月24日（木）12：30～14：00

場所：B会場

世話人：日本遺伝学会男女共同参画推進特別委員会

共催：東北大学男女共同参画推進センター

12:30

はじめに

遠藤 隆 日本遺伝学会会長

12:35

アンケートから見えてくる日本遺伝学会大会の状況

篠原 美紀 大阪大学 蛋白質研究所

12:40

男女共同参画への東北大学の取組

田中 真美 東北大学大学院医工学研究科

13:15

どうなる？ 第5期科学技術基本計画の中の女性研究者支援

大坪 久子 日本大学薬学部・薬学研究所

13:35

総合討論

13:55

おわりに

西尾 剛 日本遺伝学会第87回大会委員長

公開市民講座（パーソナルゲノム時代の遺伝学と人間社会）

日時：2015年9月26日（土）13：30～16：10

場所：仙台国際センター 会議棟 大ホール

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山

主催：日本遺伝学会

後援：宮城県教育委員会、東北大学東北メディカル・メガバンク機構

本シンポジウムは、JSPS 科研費 15HP0023 の助成を受けたものです。

入場無料・申込不要・有料駐車場あり

概要

近年のゲノム解析技術の飛躍的発展により、個人ごとのゲノム塩基配列情報が短時間に低コストで得られるパーソナルゲノム時代が到来しました。本公開市民講座では、ゲノムの基礎とゲノム解析技術の最近の急速な進歩、ヒトの個人遺伝子検査を中心にゲノム情報の利用による食料生産までも含め、幅広く人間社会に影響するゲノム情報とその利用について、ゲノム研究やゲノム情報解析で世界的に著名な専門家に紹介していただきます。

一般市民向けの講演会ですので、講師の先生にはやさしく分かりやすい講演をお願いしています。個人遺伝子検査に興味をお持ちの方々、遺伝子の話に関心がある高校生や大学生などに多数ご参加いただけるよう大ホールで行います。ご来聴をお待ちしています。

講演

ゲノム概念の変遷とパーソナルゲノム時代へ

遠藤 隆（日本遺伝学会 学会長）

ゲノム解析技術の進歩とパーソナルゲノム

田畑 哲之（かずさ DNA 研究所 所長）

個人遺伝子診断の現状と期待

安田 純（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 教授）

個人遺伝子情報と社会

鈴木 洋一（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 教授）

パーソナルゲノム時代の食料研究

倉田 のり（国立遺伝学研究所 教授）

一般講演 座長一覧

9月24日(木)

A会場 (C200教室)	1A 集団・進化		
	10:30～11:15	1A-01～03	郷 康広
	11:15～12:00	1A-04～06	藤戸 尚子
B会場 (C201教室)	1B 集団・分子進化・分子系統		
	11:00～11:30	1B-01～02	寺内 良平
	11:30～12:00	1A-03～04	宅野 将平
C会場 (C206教室)	1C 遺伝子発現(シグナル伝達・転写)		
	10:30～11:15	1C-01～03	松岡 聡
	11:15～12:00	1C-04～06	桂 勲

9月25日(金)

A会場 (C200教室)	2A 集団・分子進化・行動		
	14:00～15:00	2A-01～04	澤村 京一
	15:00～15:45	2A-05～07	今西 規
	15:45～17:00	2A-08～12	斎藤 成也
	17:00～18:00	2A-13～16	田村 浩一郎
B会場 (C201教室)	2B 複製・組換え・減数分裂・生殖		
	14:00～15:00	2B-01～04	田中 誠司
	15:00～16:00	2B-05～08	白澤 健太
	16:00～17:00	2B-09～12	二階堂 雅人
C会場 (C206教室)	2C エピジェネティクス/遺伝子発現(転写後調節・翻訳後修飾)		
	14:00～15:00	2B-01～04	岩間 久和
	15:00～16:00	2B-05～08	佐渡 敬
	16:00～16:45	2B-09～11	山本 雅也
	16:45～17:30	2B-12～14	朝井 計

9月26日(土)

A会場 (C200教室)	3A 集団・分子進化・分子系統		
	9:00～10:00	3A-01～04	竹崎 直子
	10:00～11:00	3A-05～08	内藤 健
	11:00～12:00	3A-09～12	長田 直樹
B会場 (C201教室)	3B 変異・修復		
	9:00～10:00	3B-01～04	大野 みずき
	10:00～10:45	3B-05～07	愿山(岡本) 郁
	10:45～11:45	2B-08～11	古賀 章彦
C会場 (C206教室)	3C 遺伝子機能・遺伝子発現(シグナル伝達・転写)		
	9:00～10:00	3C-01～04	佐藤 行人
	10:00～11:00	3C-05～08	高橋 文
	11:00～11:45	3C-09～11	太田 聡史
D会場 (C202教室)	3D 染色体の構造と動態・ゲノム構造・機能解析・遺伝統計		
	9:00～9:45	3D-01～03	篠原 美紀
	9:45～10:45	3D-04～07	藤本 明洋
	10:45～11:30	3D-08～10	仁木 宏典
E会場 (C301教室)	3E 分化・発生/方法論・技術・遺伝学教育		
	9:00～10:15	3E-01～05	榊屋 啓志
	10:15～11:15	3E-06～09	遠藤 俊徳
F会場 (C302教室)	3F トランスポゾン・反復配列・ゲノム再編成/バイオリソース		
	9:00～10:00	3F-01～04	梶川 正樹
	10:00～11:15	3F-05～09	西原 秀典